



TITLE:

表紙、巻首図版、序、例言、目次
、図版目次、挿図目次、表目次、
中扉、奥付、正誤表

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙、巻首図版、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、中扉、奥付、正誤表. 京都大学構内遺跡調査研究年報 1989, 1986

ISSUE DATE:

1989-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226902>

RIGHT:

京都大学構内遺跡調査研究年報

1986年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

巻首図版



京都大学病院構内A J18・A J19区
土取り穴S X 1・S X 2 (南から)

序

埋蔵文化財研究センターは、1977年に構内遺跡調査のための学内措置として設立された。以来遺跡の調査と研究をつづけてきた結果、とくに吉田キャンパスでは、縄文から近世にいたる各時代の遺跡が積層している様相を、しだいに明らかにすることができた。調査の成果は、本センターを核として理学部地質鉱物学教室・動物学教室、農学部林学教室、工学部建築学教室、文学部考古学教室など、学内各研究室の積極的協力のもとに学際的研究がすすめられ、また、その成果の保存と活用をめざしてきたのである。じっさい、次々と計画される学内の新営建物の事前調査が主な調査となっているが、不安定な研究組織ときびしい条件のもとで、構成メンバーは懸命な努力を続け、それぞれ注目すべき研究成果をあげてきた。

この報告は、1986年度の遺跡調査研究年報である。第Ⅰ部は1986年度に病院構内、教養部構内、本部構内で実施した調査の報告、第Ⅱ部は構内遺跡を中心に各地の関連する遺跡について検討した研究成果をまとめ、紀要としたものである。御高覧いただき、御批判下さるようお願いしたい。大学は、その位置する地域に深い根をおろし、その地域の発展に先導的役割をはたしてきたし、今後ものはたしつづけなければならない。埋蔵文化財研究センターも、遺跡の調査と研究をいっそう発展させ、保存と活用の実をあげ、他に先がけてその範となるような先駆的実験をくり返していきたい。

終わりに、今回も学内、学外の関係者の方々に御指導、御協力、御助言をいただいた。とりわけ、本学の施設部、医学部、工学部、教養部、木材研究所などの関係者各位にたいし、あらためて謝意を表したい。今後とも変わらない御指導、御協力のほどをおねがいしたい。

1989年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

西 川 幸 治

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で1986年4月1日から1987年3月31日までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標Ⅵ座標系 ($x = -108,000$ $y = -20,000$) が ($X = 2,000$ $Y = 2,000$) となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。
Ⅰ：京都大学教養部構内AL23区の発掘調査
Ⅱ：京都大学病院構内AJ18・AJ19区の発掘調査
Ⅲ：京都大学教養部構内AP25区の発掘調査
Ⅳ：京都大学本部構内AX30区の発掘調査
(例ⅠⅠ：京都大学教養部構内AL23区出土遺物1番)
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 第Ⅰ部の参考文献は、本文中に、〔著者名 発表年〕の形式で表わし、第Ⅰ部の末に一括した。第Ⅱ部については、注に一括して記載した。
- 8 遺構・遺物の実測と製図は、清水芳裕、五十川伸矢、浜崎一志、宮本一夫、菱田哲郎、難波洋三、三宅由美、盛恵子、上野京子、谷口由利子、西川恵美子がおこなった。遺物の撮影は、清水芳裕、五十川伸矢が担当した。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに記した。
- 10 編集は西川幸治の指導のもとに千葉豊が担当し、清水芳裕、五十川伸矢、浜崎一志、森下章司、辰巳ゆかり、西川恵美子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 1986年度

目 次

第Ⅰ部 1986年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第1章 1986年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の大要	1
2 調査の成果	1
3 教養部構内AL23区の試掘調査	3
第2章 京都大学病院構内AJ18・AJ19区の発掘調査	5
1 調査の経過	5
2 層位と遺構	5
3 古代の遺跡	10
4 中世の遺跡	12
5 近世の遺跡	24
6 井戸用材の樹種	33
7 小 結	34
第3章 京都大学教養部構内AP25区の発掘調査	37
1 調査の経過	37
2 層 位	37
3 遺 構	38
4 遺 物	39
5 小 結	42

第4章 京都大学本部構内A X30区の発掘調査	43
1 調査の経過	43
2 層 位	43
3 遺 構	44
4 遺 物	46
5 小 結	50
参 考 文 献	52
京都大学構内遺跡調査要項	54

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 VII

市坂の土器作り	63
1 はじめに	63
2 聞き取り	64
3 浅田家に残る関係資料	70
4 窯跡付近採集品	82
5 市坂の土器作りを巡る2・3の問題	89
6 おわりに	108

図 版	巻末
------------------	----

図 版 目 次

巻首図版 京都大学病院構内A J 18・A J 19区

土取り穴S X 1・S X 2 (南から)

- 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 2 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
 - 1 A J 19区全景 (西から)
 - 2 A J 18区西半全景 (北から)
- 3 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
 - 1 土坑S K 1 (南から)
 - 2 井戸S E 17 (南から)
 - 3 土坑S K 6 (東から)
 - 4 土坑S K 6 (西から)
 - 5 井戸S E 15 (東から)
 - 6 井戸S E 18 (南東から)
- 4 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
 - 1 井戸S E 5 (北から)
 - 2 井戸S E 13 (北から)
 - 3 井戸S E 22 (南から)
 - 4 井戸S E 16 (南から)
 - 5 井戸S E 10 (東から)
 - 6 井戸S E 7 (南東から)
- 5 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
 - 1 土取り穴S X 11 (北から)
 - 2 土取り穴S X 1・S X 2 (南から)
 - 3 土取り穴S X 9・S X 10 (北から)
- 6 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
S K 1・S E 13・S E 24・S K 6出土遺物
- 7 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
S X 2・S X 9・S X 7・S X 10出土遺物
- 8 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
S K 2出土遺物
- 9 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
井戸用材(1)
- 10 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
井戸用材(2)
- 11 京都大学病院構内A J 18・A J 19区
井戸用材(3)

- 12 京都大学教養部構内 A P 25区
 - 1 溝 S D 3・S D 4 (西から)
 - 2 調査区南北畔の層位 (西から)
- 13 京都大学教養部構内 A P 25区
 - 1 S D 1・S D 2 出土遺物
 - 2 S D 2 出土遺物
- 14 京都大学本部構内 A X 30区
 - 1 道路 S F 1 路面 2 上面 (東から)
 - 2 道路 S F 1 路面 1 の轍 (西から)
- 15 京都大学本部構内 A X 30区
 - 1 S K 2・黒褐色土・S F 1 路面 2・茶褐色土出土遺物
 - 2 茶褐色土・S D 8 出土遺物

挿 図 目 次

1986年度構内遺跡調査の概要

- 図 1 T R 2・T R 3 南壁の層位…… 3
- 図 2 S K 1・S D 3・茶褐色土・
茶褐色砂質土出土遺物…… 4

病院構内 A J 18・A J 19 区の発掘調査

- 図 3 調査区の層位…………… 7
- 図 4 調査区検出の遺構…………… 8・9
- 図 5 S K 1・S E 17 出土遺物…………… 11
- 図 6 井戸 S E 13…………… 14
- 図 7 井戸 S E 23・S E 19・
S E 5・S E 4…………… 15
- 図 8 井戸 S E 16・S E 22・
S E 15・S E 18…………… 16
- 図 9 井戸 S E 1・S E 14…………… 17
- 図 10 S E 24・S E 11・
S E 13 出土遺物…………… 20
- 図 11 S E 28・S E 29・
S K 3・S K 6 出土遺物…………… 21

- 図 12 S K 5・S E 31・
S E 27 出土遺物…………… 22
- 図 13 S K 4・S E 26 出土遺物…………… 23
- 図 14 土取り穴 S X 1・S X 2…………… 24
- 図 15 井戸 S E 7・S E 10…………… 25
- 図 16 S X 2 出土遺物…………… 28
- 図 17 S X 9・S X 7・
S X 5 出土遺物…………… 29
- 図 18 S X 10・S X 11 出土遺物…………… 30
- 図 19 S K 2 出土遺物…………… 31
- 図 20 畚の出土状況…………… 32
- 図 21 畚と枴…………… 32
- 図 22 近世の土取り作業…………… 36

教養部構内 A P 25 区の発掘調査

- 図 23 調査区南北畔の層位…………… 37
- 図 24 調査区検出の遺構…………… 38
- 図 25 S D 1 出土遺物…………… 39
- 図 26 S D 2 出土遺物…………… 41

本部構内A X30区の発掘調査

図27	調査区西壁の層位……………	43
図28	道路S F 1……………	44
図29	近世吉田村北部の復原図と 白川道の検出地点……………	45
図30	S K 2・砂取り穴埋土・ 黒褐色土出土遺物……………	47
図31	S F 1砂礫層・S F 1路面1・ S D 9・茶褐色土・暗褐色土・ S D 1・灰褐色土出土遺物……………	48
図32	S D 8出土遺物……………	49
市坂の土器作り		
図33	市坂の土器窯……………	64
図34	市坂周辺地図……………	65
図35	京焼の手轆轤……………	74
図36	回転台円盤, 火掻き棒……………	75
図37	花餅土型の原型(1)……………	78
図38	花餅土型の原型(2)……………	79
図39	花餅土型の原型(3)……………	80

図40	小塔土型・土印ほか……………	81
図41	土釜・炮烙, 炮烙土型……………	83
図42	炮烙土型……………	85
図43	皿……………	86
図44	製墨用油煙の採取……………	87
図45	壺類, 製墨用油煙受皿ほか……………	88
図46	奈良女子大学構内出土の近世・ 近代の土釜・炮烙(1)……………	92
図47	奈良女子大学構内出土の近世・ 近代の土釜・炮烙(2)……………	93
図48	奈良女子大学構内出土の近世・ 近代の土釜・炮烙(3)……………	94
図49	木津遺跡第4次調査出土の 近世の土釜・炮烙……………	98
図50	外型と回転台を 使った土器作りへ……………	101
図51	土器作りの回転台……………	104
図52	深草と今戸の土器作り……………	106
図53	大和の炮烙売り……………	107

表 目 次

表1	中世の井戸一覧……………	13
表2	井戸用材の樹種……………	34

表3	京都大学構内遺跡の おもな調査……………	58
----	-------------------------	----

第Ⅰ部 1986年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第1章 1986年度京都大学構内遺跡調査の概要

第2章 京都大学病院構内A J 18・A J 19区の発掘調査

第3章 京都大学教養部構内A P 25区の発掘調査

第4章 京都大学本部構内A X 30区の発掘調査

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 Ⅶ

市坂の土器作り

難波洋三

1989年3月30日発行

京都大学構内遺跡調査研究年報

1986年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター
発行 京都市左京区吉田本町
印刷 山代印刷株式会社
製本 京都市上京区寺之内通小川西入

正 誤 表

京都大学構内遺跡調査研究年報 1986年度

頁	行	誤	正
10	18	平気底味	平底気味
47	1	S F 1の路面2	S F 1の路面1
49	1	S F 2の路面1	S F 1の路面2
63	5	急速で	急速に
67	1	心要に	必要に
68	22,23	幅	輻
82	16	離形材	離型材